

京城日報

刊 夕 日 三

法王特使賀表捧呈

▲法王特使賀表捧呈
法王特使賀表捧呈
法王特使賀表捧呈

蒙匪多勢得北京

▲蒙匪多勢得北京
蒙匪多勢得北京
蒙匪多勢得北京

雲南事件與協定依賴

▲雲南事件與協定依賴
雲南事件與協定依賴
雲南事件與協定依賴

英獨海軍的活動

▲英獨海軍的活動
英獨海軍的活動
英獨海軍的活動

大製革工場

▲大製革工場
大製革工場
大製革工場

段氏進爵請求

▲段氏進爵請求
段氏進爵請求
段氏進爵請求

伊太利の船舶統一

▲伊太利の船舶統一
伊太利の船舶統一
伊太利の船舶統一

獨倫蘇士襲擊準備

▲獨倫蘇士襲擊準備
獨倫蘇士襲擊準備
獨倫蘇士襲擊準備

土耳其皇太子自殺説

▲土耳其皇太子自殺説
土耳其皇太子自殺説
土耳其皇太子自殺説

山縣公訪客多

▲山縣公訪客多
山縣公訪客多
山縣公訪客多

政友態度一變

▲政友態度一變
政友態度一變
政友態度一變

東拓案提出期

▲東拓案提出期
東拓案提出期
東拓案提出期

鑛業熱益旺盛

▲鑛業熱益旺盛
鑛業熱益旺盛
鑛業熱益旺盛

倉庫設立進捗

▲倉庫設立進捗
倉庫設立進捗
倉庫設立進捗

山元

▲山元
山元
山元

營林廠材一定

▲營林廠材一定
營林廠材一定
營林廠材一定

中樞院初會議

▲中樞院初會議
中樞院初會議
中樞院初會議

御歸途露太公

▲御歸途露太公
御歸途露太公
御歸途露太公

一部長會同

▲一部長會同
一部長會同
一部長會同

商議委員會

▲商議委員會
商議委員會
商議委員會

府協議會開會

▲府協議會開會
府協議會開會
府協議會開會

客中より

▲客中より
客中より
客中より

山群

▲山群
山群
山群

山金

▲山金
山金
山金

墨の後晴れ
二月四日
(三月十六時迄)
(四月十六時迄)

○月曜
五時五十九分

八六五
時四十一分

時五十分

仁川
午年
前夜

小栗美作の狼狽

入部院
腎臟科
（一）

泌尿器病

膀胱病
淋病
梅毒
痔瘡
皮膚病

專問

永樂堂
金光堂
藥金堂
藥金堂
藥金堂

目下二町藥永
り隣會發光金

安部醫院

番九一四話電



電話八七三番 大正館

[illegible]

座いますまいか、世の御婦人の中に
はさういふ方が随分とゐらつしやる
例へば足腰の冷えるのは子宮に故障
があるからで立派な病的徴候ですが
一般の婦人は「女の先天的持質」かの
様にして居られるし更に驚くべきは
子宮内膜炎
即ち俗にこしけといふ病に就ても亦
同様の考へを有つて居られることで
相當に衛生思想のある御婦人ですら
こしけは誰にもある女の役、位にし
て、時間から申せば、殊に目下の女
寒から寒期へかけての時候で御座
ります、其の他不熟練な婦人に子宮を
診て貰つた時機機の使用法の下手な

問題

總てホーカール液廣告詠込の俳句和歌たればよし。

たると舊派たるを問はず、
し和歌派を、要するに業派

但し

「ホーカール液は『現代』が生んだ理想的な家庭美容化粧料です。すしかも日本にたつた一つしかない國産化粧液として、都會は申すに及ばず今や全國到處婦人会、婦人會、婦人會を始めとして紳士間にも湧くが如き好評を以て熱愛され従つて如何に本品が他の化粧液に優つてゐるか云ふ事に就ては世間既に定評ある事です。今般にこの利便なホーカール化粧液を實家と持つて主として力づくに二三の事」

鹿皮、藥皮、四品、送星、**景品**、鎖、磁石、御
 注文、外幣、金、銀、銅、包、造、増、減、
 五錢、外幣、四、十、錢、郵、票、一、送、一、造、増、減、
 同、寶、金、貨、地、金、男、女、用、指、環、鎖、兒、
 重、不、向、時、他、品、交、換、又、返、金、
 大坂松屋町 合資 振替大阪堂三六九番
 地蔵坂南入 會社 日野時計店
 東京芝盛堂寄町三丁目
 東家底正廣料三丁目



ホーカール液は色を雪の様に白く、キメを細かに、羽二重の肌のように麗はしくし、冬の木枯風にも肌荒れがせず、白粉のノリ、ノビが思ひの儘に白粉のトキ水によく紳士の髭剃後、洗面後等に用ゐて顔る快感を興へ、其他子供衆の皮膚を丈夫にし、美人、美男子を造る天下唯一の品です。

東京で一番よく賣れる化粧料

ホーカール液

濃霧の排句と和歌は切實にホーカール液の効能を詠み込んだものか、でなければ成るべく實感的な句を歓迎いたします。

應募規定

▽用紙はハガキ一枚一句宛の事
▽この新刊名を記す事
▽宛名は「東京新聞社 泉橋 堀越 嘉太郎商店廣告部」
▽ハガキの表面には「應募和歌

一等三越五圓切手一枚づい
二等同ホーカール液大瓶十五人
三等同ホーカール液小瓶五十人
四等定價十四錢八十人
五等定價十四錢八十人

加路月見番
電話七二八六番
開辦清洲交通便利

大坂市西區新町通二丁目
本家 田知本和三郎謹製
愛染店販賣 播磨大坂二八八番

製作品販賣廣告
官紗、倭紗、明紗、
三細、外細、絹物各種
木綿、布圍地、日本絹色
木綿、外木細、絹類各種

右即實開始
大正五年二月二十九日
黑崎博隆

慶尚北道機業所

純牛奶
正標北醫醫主場
四町東區機業所
場牧市東
(昔二五拾電)

純牛奶
正標北醫醫主場
四町東區機業所
場牧市東
(昔二五拾電)

純牛奶
正標北醫醫主場
四町東區機業所
場牧市東
(昔二五拾電)

純牛奶
正標北醫醫主場
四町東區機業所
場牧市東
(昔二五拾電)

純牛奶
正標北醫醫主場
四町東區機業所
場牧市東
(昔二五拾電)

願ひたい。御談話の途中、御坊が申しましたから、足輕岡士は「甲尊妙に大小を取つて傍へ退きましたか」と、禪室より長勝寺へ御参拜を述べ、直に御屋敷へ歸ると、比留間正木の兩名を呼出して美事として飯事を兩名一大事出来いたした。奥何事で御坐るか。渡邊九十郎が江戸表より當流印へ参り、其方兩名が食前兩名の仇なるを以て、仇討いたしたいから引渡ししてくれとのことである。之を手が拒む時は、渡邊家二十三軒打揃うて常星數へ乗込み、其方等兩名を取つて押へる中申す。其やうな事に相成つては、第^一御上へ對して恐れ多く、又世間體も登しきことなれば、其方兩名、最早連れぬ事と諦め、支度になり、長勝寺の松原に待受ける九十郎と常勝の勝負いたすが宜しい。尤も當家の足輕

乙何しろぞ。どう云ふ譯になるのだ。乙何しろぞ。變なことで、江戸から渡邊九十郎殿女こにて、江戸から渡邊九十郎殿が御入室になつて、仇討をなさる云ふ。甲「吾た仇討の助太刀は出来い。乙」けれどさ。比留間、正木の兩名を守護しよと仰つしやるのだ。甲「面割臭いこと御坐る、マア餘近寄らぬ方が宜しい。比留間、正木兩人は仇を持つ身の上だから、死んでも仕方がない。又打つ方は討理合があつて御討ちなさるのだ。それを更々斯う言ふが妨げては、あの劍術の達人の渡邊様に猪口才千萬斬り込ましたとては、足輕の三十人や叩し十人は、一と討に難き倒される。丙「しる君子は危きに近寄り、己「やそれか宜しい。急ぐ比留間、正木兩名支度に及び、足輕に送られ、長勝寺・松原へ行つて來ると、袴

[illegible]

第一回 目録
 第二回 狂言
 第三回 狂言
 第四回 狂言
 第五回 狂言
 第六回 狂言
 第七回 狂言
 第八回 狂言
 第九回 狂言
 第十回 狂言
 第十一回 狂言
 第十二回 狂言
 第十三回 狂言
 第十四回 狂言
 第十五回 狂言
 第十六回 狂言
 第十七回 狂言
 第十八回 狂言
 第十九回 狂言
 第二十回 狂言
 第二十一回 狂言
 第二十二回 狂言
 第二十三回 狂言
 第二十四回 狂言
 第二十五回 狂言
 第二十六回 狂言
 第二十七回 狂言
 第二十八回 狂言
 第二十九回 狂言
 第三十回 狂言
 第三十一回 狂言
 第三十二回 狂言
 第三十三回 狂言
 第三十四回 狂言
 第三十五回 狂言
 第三十六回 狂言
 第三十七回 狂言
 第三十八回 狂言
 第三十九回 狂言
 第四十回 狂言
 第四十一回 狂言
 第四十二回 狂言
 第四十三回 狂言
 第四十四回 狂言
 第四十五回 狂言
 第四十六回 狂言
 第四十七回 狂言
 第四十八回 狂言
 第四十九回 狂言
 第五十回 狂言
 第五十一回 狂言
 第五十二回 狂言
 第五十三回 狂言
 第五十四回 狂言
 第五十五回 狂言
 第五十六回 狂言
 第五十七回 狂言
 第五十八回 狂言
 第五十九回 狂言
 第六十回 狂言
 第六十一回 狂言
 第六十二回 狂言
 第六十三回 狂言
 第六十四回 狂言
 第六十五回 狂言
 第六十六回 狂言
 第六十七回 狂言
 第六十八回 狂言
 第六十九回 狂言
 第七十回 狂言
 第七十一回 狂言
 第七十二回 狂言
 第七十三回 狂言
 第七十四回 狂言
 第七十五回 狂言
 第七十六回 狂言
 第七十七回 狂言
 第七十八回 狂言
 第七十九回 狂言
 第八十回 狂言
 第八十一回 狂言
 第八十二回 狂言
 第八十三回 狂言
 第八十四回 狂言
 第八十五回 狂言
 第八十六回 狂言
 第八十七回 狂言
 第八十八回 狂言
 第八十九回 狂言
 第九十回 狂言
 第九十一回 狂言
 第九十二回 狂言
 第九十三回 狂言
 第九十四回 狂言
 第九十五回 狂言
 第九十六回 狂言
 第九十七回 狂言
 第九十八回 狂言
 第九十九回 狂言
 第一百回 狂言

同時に下物
 があります。これがこしだけで永く續いて下りる事もあるが大概斷續的に殊に月經時に下りる事が多い爲め、一般の人は月經と同時に居られるものも無理はありませぬが若し其の様な誤解から果敢となると、最初稀薄なものが段々濃厚になり或は卵の自尿の様に、又は黄色い結塊となり何とも又持はざる臭を發します。斯う症状を述べたすれば御婦人は

屹度思慮る
 事があり得てせう。普通子宮病とか婦人病とかいふ病は大抵此のこしで御座います。そして油斷して手當を怠ると、病勢次第に進むて食慾衰へ、貧血を起し、それが爲め手足や腰が冷える、頭痛がする、動悸が高ぶる、精神は憂鬱になる、身體は衰弱する、斯くて遂には一命を失ふ様な危険な地位に立至ることが往々あります。假令それ程に至らなくても

是非共服藥
 なる事は肝要ですが、近來婦人家の藥は随分と數多くなり、數多いが如何なるものも少くありません。選擇に注意なさらねと却つて危險な御座います。併し信用と効驗を標準にして御振ひになるのであれば決して御迷ひなさる必要はありません。今日では何と云つても、婦人病が一般に世間の信用の厚い事は勿論で、現今吾國で有名な、數十名の婦人科

専門の大家
 から名譽の賞讃を頂いた程幼齡癰腫をな良藥です。御伺ひの方は此の御婦人に宮症で常服の薬を授けし夜分癰腫の時に子宮坐薬中將を挿入して置けば、一層幼齡癰腫が何なく癒癒するも通ります。本館は東京日本橋區田津村順天堂本店と大阪府大東市津村順天堂支店と大塚藥房と有升本舖に症狀に應じて加減減藥も有升から御容體御申越し下さい。

右に和歌、俳句共
各等呈上

光榮

大正四年十二月十五日
ホーカール白髮液は東京内外有数の名譽を博す。

冬とホーカール液

朝にお顔を洗つた後、たゞ二滴を掌に落し、手で顔から順に、首へかけてよくお塗り下さい。その時に肌荒れ等のする處は少しもありません。

入浴後にも同じくホーカール液をおぬじになる事を思召されたい。洗ひ終つて下さうやう乾かう時が所宜です。

化粧をする時には必ずホーカールを白粉にお用ひ下さい。トキ水に下されば、何れにしても、白の疵が出来ず、無自然の白さに達し、ほんとうに化粧の出来が違います。

男子方の髻剃後にお用ひ下されば、髪ツマケを防ぎます。

▼明治五年二月十日
▼陰表は三月以後各新聞紙上
▼選者堀越商店廣告部

本舗 堀越嘉太郎商店

東京神田和泉橋

ホーカール白髮液
ホーカール白髮液
ホーカール白髮液

寫眞器械
 材料及藥品
 直輸入諸
 コロタイブ印刷
 大連市大山通
 光明洋行寫眞部改め
 佐野洋行
 優等清酒
 本莊酒店
 京阪本町爲工目電話六號四番

(115)

須藤南翠作
簡井年峰書

忠烈
(二)

命を奉じて乗馬は牽き出された。勝家は兜の紐を固く結んで、既に馬に乘らうとした。此時大恩切つて馳せ付けた法進があつた。勝家は乗馬の手綱を腕に持ち添へたまし、きつと其方を握んだ。

この法進は本陣の先手を承はつた水野小右衛門の使者であつた。彼は流るゝ汗を拭ひもやらず、

勝家は能く知つてゐた。佐々は決して



つたのであつた。やがて斷手として
賊意を固めた。鞭を揚げて衆馬に加
へようとした。

「あう、いや、噤、噤らく」

彼方より聲をかけて、つか／＼と
進み出た者がある。勝家はまたしても
出陣の氣を挫かれて、憤然として
其人を睨め附けた。

「噤く、御馬控へさせられい、噤りな
るこゝなし又退省時刻より、直
に病院に歸來し、夜夜專心、自から
治療せしむ。其他の諸事を指揮監督して
我も之を他に委せす、且つ公の入
院中は終始、同院内に留置して、公
旁にあらざれば公の傍を離れず、晝
夜切通し、所謂、湯藥先づ嘗み、大
を解かすとも稱すべき程あり其
熱しからず、之が爲め公は幸に九死
に一生を得た。

短文募集

のであつた。

兒玉大將の友

私は茲に私の知れる三上光太郎の一首として、兒主陸軍大將（前太田伯）生前、讀めて友誼に厚かりし事實を一紙を贈贈せんとするに際し、兒大將を主とし、桂公を客として記を試み、以て讀者の御覽に供せん

桂公が著く感歎しつつ、親しく私共を驚かしたる事實である

六其後、明治三十二年、私は事を以て渡臺し、兒主大將（臺灣總督）は語て略略したる際、同大將は「予は昨年臺灣總督に就任したる以來、常に左の二事を決し居れり」と

一、總督在城中は、假令如何なる
僞託謀に遇ふとも、一切怒ら
ざる事。

二、假令何程に厭するとも、即日、
後任者に引繼ぎ得る一様、常
に萬事を憂へ置く事。

三、假令大將の遺事の美談として

何なりしやは、當歸或る事由の爲
秘密に附せられたるも、匠は虎ノ
病にして、從更に一種の風病に變
じ、牛乳、雞卵等の外は、粥で全く
養ふ。藥食三週間の長きに
堪へ、憔悴、枯槁極に達した。
其時、桂公の幼馴染の友たりし

●鮮明美麗な女書報 東京市京橋區本町三丁目發行
有き程懸念する所なりと雖も、婦人雜誌中の一
冊に於ては、これと世間隔絶あるところがある。一
九二四年二月號は竹川桂雄氏の獨逸小説「白蛇」を
主眼に柳田泉の俳句讀解を附載し下座に東丘宮崎氏の
詩の鮮明なる筆致が著しく、その下に藤田君の先
生談話より「天草紅色」及び「花」の二篇に就いて、
四の五の語句を説明する。又同誌四月號には「天草紅
色」の面々を論ずる。又五月號には「天草紅色」の「天

亦轉ふるに足ることであらうと思ふ
(未完)

○三ツ椿油

價 定	
小燭入	定價 金二十錢
中燭入	五勺入 金三十錢
大燭入	一合入 金五十五錢
燭入	五合入 金二百五十錢

毛髪には何故椿油が宜いかり。純正な椿油は不乾性油と云つて、流動の性質を失はせず、滲込む力が強く、蟻敗する感ひがなく、厭ふべき臭氣を發しないからである。

椿油にも不完全なものが多い

然し椿油と稱して、完全に椿油の特色を發揮するものは先づ無いと云つて宜い位で、或は非度く酸化して居たり、或は色を濁す爲に白硫黄種油を交たり、結土、日光、アルカリ等で處理して見れば、椿油と違はぬやうでも



ミツワ 椿油

商標化文
春
店商屋

は製造法を改良して、冷療法で強力なる水膨機を用ひ、少しも熱を加へずに搾取した新鮮純良な精油で、平素此ミツワ精油を使つてゐるご毛髪に透込む力が強いから、

毛髪の發育を助け



○三百番香水

價定
一均種各

小穗八	金五
中穗八	金一圓五十錢
大穗八	金二圓五十錢

ミツワ石 鯨油
 ミツワ椿 油
 ミツワ家 庭藥發賣元
 肝油ドロツプス
 圓化粧品

三番香水は優雅な香で、長い時間香を保つて居ります。
 香は人によりまして、嗜好を異にして居りますから、先が三番香として六種の香を異にするもの
 を發賣いたしました。更に進々種類を増やさうと云ふ計略であります。
 香水は折角高價を拂つて求めても、その香が嗜好に合はない場合が多い。三番香水は一罐毎
 に小瓶の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになる便利があります。
 普通香水は容顏の醜態を飾る爲に餘計に高價なものになる弊がありますが、三番香水は正味
 のみを目的として居りますから、自然價格も無類の低廉なものになつて居ります。

東京市日本橋區橋町四丁目
 藥劑、發賣品、石鹼、香粧品、小物問屋
 丸見屋商店

町橋路 〇二五、振替金口座東京七一〇番
 電話營業部詢問三〇、四四八、四四九、四五〇番

瓢水味淋

[illegible]

瀨戸皮
 旭町二丁目
 瀨戸
 (電話二)

[illegible]

山
東

京
鹽

院醫科
科膚

(目丁三舊)目
士學
潔 月
(番八九四)

診察夜九時まで

永興丸	北興丸	益德丸	江陽丸	三浦丸	海州丸	統壽丸	順天丸	要興丸
每月廿八回	每月廿八回	二月五日	每日	二月八日	二月八日	二月八日	二月八日	二月八日
元山發	元山發	釜山發	釜山發	釜山發	釜山發	釜山發	釜山發	釜山發

關東 青島 各種販賣 鹽販賣所 粉碎 再製 電話二四〇

南錦 西九	各處均有代售行	麗水丸 二月十七日	荖原丸 二月五日	全州丸 二月五日	公州丸 二月七日	公州丸 二月十一日	公州丸 二月十三日
仁川發	每日午前	仁川發	仁川發	仁川發	木浦發	木浦發	木浦發

○大連、秦皇島行
 二月十八日 正午出帆
 二月十九日 正午出帆
 二月二十日 正午出帆
 二月二十一日 正午出帆
 二月二十二日 正午出帆
 二月二十三日 正午出帆
 二月二十四日 正午出帆
 二月二十五日 正午出帆
 二月二十六日 正午出帆
 二月二十七日 正午出帆
 二月二十八日 正午出帆
 二月二十九日 正午出帆
 二月三十日 正午出帆

汽船釜山出帆廣生

立神丸 大阪行
二月八日發五時出

立神丸 小樽、二河行
二月十七日發十時出

立神丸 神戸、大阪行
二月十五日發五時出

立神丸 小倉、波津、並舞行
二月十五日發五時出

平安丸 群山嶺
二月七日 若松發

群山嶺 大黒山、本地、本庄、若松行
不瀬崎開行

須磨丸	二月十二日	午後四時出帆
水浦・釜山長崎行	○ <small>(往歐船)</small> 前泊上野	
安波丸	二月十七日	午後二時出帆
城津丸	二月十七日	午後二時出帆
大連行		
安波丸	二月十五日	正午出帆
城津丸	二月十三日	
靜山・關門・神戸・大阪行		
大智丸	二月五日	後五時出帆
温州丸	二月六日	後五時出帆
○靜山・釜山・橫濱行		
三洲丸	二月十日	午後四時出帆
三洲丸	二月十九日	午後四時出帆

小丸丸 二月 日暮時出帆
 ○元山 西洲 新浦 城津 浦津行
 ○三光 平丸 二月十九日 午後六時出
 ○四郎 子母 神戶 大阪行
 ○三郎 平丸 二月 日 午後六時出帆
 ○佐須 奈丸 殿原 壹岐 博多行
 天眞 九旬二月廿一日 午後十時
 廿一日 廿六日 出帆
 本船停泊立石町 大池 回漕船
 本船取銀店

阿 共同汽船 昨出帆
 阿 共同汽船 昨出帆

[illegible][illegible]

京城切符發賣所 內國通運會社支店
電話二〇三六號 五五五〇
電話七〇八號

元山代理店 山口 同 濱部
春日町(電話二四四七番)
南大門電話(二六八、二〇一七)
大塚商店 可村 同 濱部